

【異文化コミュニケーション学部／研究科】

履修要項（2023年度配付）訂正・変更一覧

(2025年3月19日時点 訂正・変更一覧)

* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています**変更**：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子 PDF には反映をしていません

<2025年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全体	変更	履修要項全体	履修要項全体	異文化コミュニケーション学科 PEACE プログラムのコース名が変更になるので、以下の通り読み替えること。 PEACE CIC ↓ 変更後 Intercultural Communication for Global Leadership (ICGL)
3/19	3	変更	教務事項の伝達について	4 教務窓口	複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	14	変更	I カリキュラムのしくみ (RIKKYO Learning Style)	2 科目ナンバリングについて 2. 全学共通科目のナンバリング	①科目の設置学部学科（専修）・研究科を示すアルファベット3文字 ポルトガル語 ↓ 変更後 ポルトガル語（ブラジル）
3/19	20	変更	II 授業（学習生活）	5 補講	教務部掲示板および以下の場所で発表する。 ↓ 変更後 教務部掲示板で発表する。 (インフォメーションボード等削除)
3/19	131	変更	博士課程前期課程 授業（学習生活）	項目の追加	11 全学共通科目の履修について (以降項番修正)

3/19	26	変更	Ⅲ-2 履修規定 履修についての注意事項	8 他学部等科目の履修について	複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	26	変更	Ⅲ-2 履修規定 履修についての注意事項	9 派遣留学生・認定校留学生の履修	複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	29	変更	Ⅲ-3 履修規定 単位認定	2 休学留学制度による単位認定	<p>大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される。</p> <p>↓</p> <p>変更後</p> <p>大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される場合がある。</p>
3/19	41	変更	Ⅵ 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」「試験方法」「追試験」「試験時間重複特別試験」「成績」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
	博士課程前期課程				
	Ⅶ 試験・成績				
146	博士課程後期課程	Ⅴ 試験・成績			
179					
3/19	55	変更	Ⅶ 卒業に関する事項	5 特別卒業	項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	59	変更	Ⅷ 学籍・学費	6 再入学	項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
	博士課程前期課程				
	X 学籍・学費				
165	博士課程後期課程	Ⅶ 学籍・学費			
180					
3/19	66	変更	X 5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）	項目の追加	<p>5 履修中止</p> <p>f-Campus 科目は履修中止申請が認められない。</p> <p>（以降項番修正）</p>

3/19	83	変更	異文化コミュニケーション学科 履修規定（一般・TBP）	7-1 専門演習 1～3	<p>2. 履修規定（9）,（10）を以下の通りに変更</p> <p>（9）（略）3年次春学期に「専門演習 1」/ 「Advanced Seminar 1」を履修することとなる（必須）。</p> <p>（10）（略）在学 5 学期目に「専門演習 1」/ 「Advanced Seminar 1」を履修することとなる（必須）。</p> <p>↓</p> <p>変更後</p> <p>（9）（略）3年次春学期に「専門演習 1」/ 「Advanced Seminar 1」を履修することができる。</p> <p>（10）（略）在学 5 学期目に「専門演習 1」/ 「Advanced Seminar 1」を履修することができる。</p>
	100		異文化コミュニケーション学科 履修規定（DLP）	2-3 Advanced Seminar 1～3	
3/19	83	変更	異文化コミュニケーション学科 履修規定（一般・TBP）	7-1 専門演習 1～3	<p>3. 選考方法の以下の一文を削除</p> <p>原則として、履修を希望する教員にアポイントメントをとった上で面談を行い、申込フォームに必要事項を記入した上で所定の期間に申込を行うこと。</p>
	101		異文化コミュニケーション学科 履修規定（DLP）	2-3 Advanced Seminar 1～3	
	113		異文化コミュニケーション学科 履修規定（PEACE CIC）	4-1 Advanced Seminar 1～3	
3/19	90	変更	異文化コミュニケーション学科 履修規定（一般・TBP）	<p>10 9月入学者（NEXUS プログラム生含む）について</p> <p>10-2 選択科目【専門科目、専門演習・卒業研究、卒業課題】</p>	<p>以下の通り記載内容を変更</p> <p>在学 6 学期目および在学 7 学期目（10 月末までに帰国予定）に派遣留学又は認定校留学（すべて在学留学に限る）をする場合は、在学 5 学期目に「専門演習 1」を履修することとなる（必須）。</p> <p>↓</p> <p>変更後</p> <p>在学 6 学期目のみ、あるいは在学 6 学期目および 7 学期目（10 月末までに帰国予定）に大学間派遣留学または認定校留学（すべて在学留学に限る）をする場合は、在学 5 学期目に「専門演習 1」を履修することができる。</p>
3/19	110	変更	異文化コミュニケーション学科 履修規定（PEACE CIC）	1 学部必修科目の履修要領	<p>（4）に以下の一文を追記</p> <p>なお、「Academic Skills A/B」は次学期以降毎学期再履修となる。</p>

<2024 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は 2024 年度版の履修要項で確認すること。
3/19	14	変更	科目ナンバリングについて	2 全学共通科目のナンバリング 3 異文化コミュニケーション学部専門科目のナンバリング	科目ナンバリングに複数の追加・変更が生じているので、2024 年度履修要項で確認すること。
3/19	19	変更	Ⅱ 授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講 8 学校感染症に罹患した場合の措置について	「授業形態」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は 2024 年度版の履修要項で確認すること。
	博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）				
3/19	23	変更	Ⅲ-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	以下の文言を追加 (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60 単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業 60 単位上限）。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、Ⅱ 授業（学習生活）を参照
3/19	25	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	2 履修登録上限単位数	「〈全学共通科目の履修登録上限単位数〉」において、言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	25	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	3 重複履修	科目名変更に伴う記載変更 【変更前】 Special Topics in ICC A~C 海外インターンシップ(GIC)B 【変更後】 Special Topics in ICC 海外日本語教育インターンシップ
3/19	35	変更	Ⅴ 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」(2) ※部分について 以下のとおり変更 全学共通科目言語 A（英語） ↓ 全学共通科目言語系科目
					「3. 抽選登録」(2) ⑥部分について 全学共通科目言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	41	変更	Ⅵ 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」、「成績」に関することなど、項目

	146		博士課程前期課程 VII 試験・成績		全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	55	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業(9月卒業)とは」において以下の文言を追加(赤字部分) 3. 申請時において、在学8学期目以降の学生であること ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学6学期以降で足りるものとする
3/19	56	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、この項目は2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	162		博士課程前期課程 X 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	61	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に以下のテーマを新設 9. Russian Language & Culture 選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。
3/19	67	変更	XI 5年一貫プログラム	3. 出願資格	以下の文言を追記 ※コースごとの要件についての詳細は、R Guide を参照すること。
3/19	72	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 英語教員・各種養成プログラム	英語教員養成について	<異文化コミュニケーション学科「教科および教科の指導法に関する科目」> 2024年度の科目名変更に伴う科目の記載追加 異文化コミュニケーション特論 ※2023年度まで「異文化コミュニケーション特論B」
3/19	73	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 日本語教員養成プログラム	2. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。

3/19	74	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 日本語教員養成プログラム	5. 日本語教員になるためには	以下の文章に変更 将来日本語教員に関わる職種への進路を希望する者は、このプログラムを履修することにより、知識が修得できる。2024年度開始の国家資格「登録日本語教員」の取得には、日本語教員試験合格と実践研修の修了が必要となる。より専門家としての知識および能力を習得するためには、大学院への進学も必要である。
3/19	75	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 通訳・翻訳者養成プログラム	2. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。
3/19	78, 102, 111	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP・PEACE)	3 選択科目の履修要領 2. 先修規定	科目名変更に伴う記載変更 【変更前】 海外インターンシップ(CIC)A 海外インターンシップ(CIC)B 【変更後】 海外日本語教育実践 海外日本語教育インターンシップ
3/19	78, 102, 111	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP・PEACE)	3 選択科目の履修要領 2. 先修規定	以下の科目は2024年度より先修規定が廃止となったため削除 Advanced Seminar in Intercultural Communication Language and Identity International Organizations and Sustainability Gender and Communication Globalization and Media
3/19	79, 103, 111	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP・PEACE)	コミュニケーションセミナー (CS)科目【基盤科目】	科目名変更に伴う記載変更 【変更前】 【変更後】 CS1B ⇒ CS1 CS2D ⇒ CS2
3/19	80, 105	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	<一般・TBP> 5-2 海外留学研修 A/B/C【基盤科目】 <DLP> 4-3 Overseas Study Program A/B/C【基盤科目】	以下の記載内容に変更 【変更前】 (2) 留学生は、出身国の留学プログラムを選択することはできない。 【変更後】 (2) 留学生 (=外国人留学生入試により入学した学生)、9月入学者 (NEXUS プログラム生含む)、および PEACE プログラム生は、原則として出身国地域の留学プログラムを選択することはできない。出身国・地域は外務省のHPに基づいて判断する。
3/19	81, 106	変更追加	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	<一般・TBP> 5-2 海外留学研修 A/B/C【基盤科目】 4. 履修登録・注意事項 <DLP> 4-3 Overseas Study Program A/B/C【基盤科目】 4. 履修登録・注意事項	以下の記載内容に変更 【変更前】 (6) 「海外留学研修 A/B/C」履修中は、「海外留学研修 A/B/C」以外の全ての科目の履修はできない。 【変更後】 「海外留学研修 A/B/C」履修中は、「海外留学研修 A/B/C」以外の科目の履修はできない(「留学、学びのデザイン、キャリア」は除く)。

3/19	81, 106	追加	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	5-3 留学, 学びのデザイン, キャリア	新規項目。詳細はR Guideの「留学、学びのデザイン、キャリア」を参照すること。																				
3/19	87	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP)	9 DLP への変更 5. 同一科目・同一内容科目, 各科目の算入区分	<p>2024年度の科目名変更に伴い、2024度より以下の通り記載科目名を変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>DLP 科目名</th> <th>一般科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">選択科目</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基盤科目</td> </tr> <tr> <td>Communication Seminar 1B(〇〇) ↓ Communication Seminar 1(〇〇)</td> <td>コミュニケーションセミナー1B(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)</td> </tr> <tr> <td>Communication Seminar 2D(〇〇) ↓ Communication Seminar 2(〇〇)</td> <td>コミュニケーションセミナー2D(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)</td> </tr> <tr> <td>Overseas Internship (CIC) A ↓ Overseas Japanese Language Teaching Practicum</td> <td>海外インターンシップ (CIC) A ↓ 海外日本語教育実践</td> </tr> <tr> <td>Overseas Internship (CIC) B ↓ Overseas Japanese Language Education Internship</td> <td>海外インターンシップ (CIC) B ↓ 海外日本語教育インターンシップ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">選択科目</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門科目</td> </tr> <tr> <td>以下の科目を追加 Topics in Translation and Interpreting</td> <td>以下の科目を追加 通訳翻訳特論</td> </tr> </tbody> </table>	DLP 科目名	一般科目名	選択科目		基盤科目		Communication Seminar 1B(〇〇) ↓ Communication Seminar 1(〇〇)	コミュニケーションセミナー1B(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)	Communication Seminar 2D(〇〇) ↓ Communication Seminar 2(〇〇)	コミュニケーションセミナー2D(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)	Overseas Internship (CIC) A ↓ Overseas Japanese Language Teaching Practicum	海外インターンシップ (CIC) A ↓ 海外日本語教育実践	Overseas Internship (CIC) B ↓ Overseas Japanese Language Education Internship	海外インターンシップ (CIC) B ↓ 海外日本語教育インターンシップ	選択科目		専門科目		以下の科目を追加 Topics in Translation and Interpreting	以下の科目を追加 通訳翻訳特論
DLP 科目名	一般科目名																								
選択科目																									
基盤科目																									
Communication Seminar 1B(〇〇) ↓ Communication Seminar 1(〇〇)	コミュニケーションセミナー1B(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)																								
Communication Seminar 2D(〇〇) ↓ Communication Seminar 2(〇〇)	コミュニケーションセミナー2D(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)																								
Overseas Internship (CIC) A ↓ Overseas Japanese Language Teaching Practicum	海外インターンシップ (CIC) A ↓ 海外日本語教育実践																								
Overseas Internship (CIC) B ↓ Overseas Japanese Language Education Internship	海外インターンシップ (CIC) B ↓ 海外日本語教育インターンシップ																								
選択科目																									
専門科目																									
以下の科目を追加 Topics in Translation and Interpreting	以下の科目を追加 通訳翻訳特論																								
3/19	99	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (DLP)	学部必修科目の履修要領	<p>【変更前】 (4) 配当年次に単位を修得することができなかった場合、原則、次年度以降の開講学期に再履修となるため、いずれの場合も単位を修得できるまで自動登録される。</p> <p>【変更後】 (4) 配当年次に単位を修得することができなかった場合、①次学期以降毎学期再履修する科目、②次年度以降の開講学期に再履修する科目に分かれるので注意すること。 ①Academic Skills A/B (2024年度秋学期以降) ②Overview of Language and Communication Studies, Overview of Global Studies, Cultural Exchange</p>																				
3/19	138	変更	<u>博士課程前期課程</u> Ⅲ 履修規定 (修了要件単位について)	1 修了要件単位 1 単位制度	<p>1 単位制度において以下の文言を変更 単位とは、学修の量を数字で表すものである。単位数は、それぞれの科目によって異なり、授業科目による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して計算している。 異文化コミュニケーション専攻博士課程前期課程では、次のように定めている。 週1回(100分)半期の授業で2単位とする ↓ 大学院博士課程での学修は、単位制となっている。科目には一定の単位が定められており、その科目の履修登録をし、授業を受け、かつ、試験に合格した場合、当該科目の単位が与えられる。</p>																				

					「2. 単位の考え方」の項目追加 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。						
	176	変更	博士課程後期課程 Ⅲ 履修規定	2. 単位制度	2024 年度履修要項の前期課程の該当箇所を確認すること。						
3/19	138	変更	博士課程前期課程 履修規定	1 修了要件単位 2. 修了要件単位数 6. 他研究科科目・学部科目	自由科目の区分に以下を追加 他大学院科目（協定大学院科目）						
3/19	139	変更	博士課程前期課程 履修規定	2 履修区分ごとの履修要領 4. 重複履修	以下の赤字の文章追記 一度単位を修得した科目については、再度重複して履修することはできない。ただし、「通訳翻訳研究特殊講義」においては重複履修を認め、修得した単位は修了要件単位に算入される。						
3/19	139	変更	博士課程前期課程 履修規定	2 履修区分ごとの履修要領 5. 先修規定	2024 年度の科目の新設・廃止に伴い以下の科目追加 <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>先修科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通訳翻訳専門実習 A※2</td> <td>会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳 2 または 翻訳の原理と方法・翻訳演習 1・翻訳演習 2</td> </tr> <tr> <td>通訳翻訳専門実習 B</td> <td>会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳 2 または 翻訳の原理と方法・翻訳演習 1・翻訳演習 2</td> </tr> </tbody> </table>	科目名	先修科目	通訳翻訳専門実習 A※2	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳 2 または 翻訳の原理と方法・翻訳演習 1・翻訳演習 2	通訳翻訳専門実習 B	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳 2 または 翻訳の原理と方法・翻訳演習 1・翻訳演習 2
科目名	先修科目										
通訳翻訳専門実習 A※2	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳 2 または 翻訳の原理と方法・翻訳演習 1・翻訳演習 2										
通訳翻訳専門実習 B	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳 2 または 翻訳の原理と方法・翻訳演習 1・翻訳演習 2										
	177	博士課程後期課程 履修規定	4. 設置科目の区分と履修方法 (4) 先修条件	※2「会議通訳 2」「翻訳演習 2」については、「通訳翻訳専門実習 A」と同学期の履修を可とする。							
3/19	140	変更	博士課程前期課程 履修規定	Ⅳ 履修規定（単位認定）	記載内容変更 2024 年度履修要項 前期課程の該当箇所（Ⅳ 履修規定（単位認定／大学院間相互科目の履修））を確認すること。						
3/19	145	変更	博士課程前期課程 会議通訳予定プログラム・翻訳専門職養成プログラムについて	2. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。						
3/19	158	変更	博士課程前期課程 Ⅷ 修士論文／課題研究	9. 審査基準	以下の通り記載内容変更 【変更前】 題目届の提出、中間報告会、仮提出および予備審査を経て、質・量ともに学位を与えるに足る論文または課題研究を、審査・最終試験において可とする。審査項目は以下の通りとする。 【変更後】 論文または課題研究について、題目届の提出、中間報告会、仮提出および予備審査を経て、審査・最終試験において、以下の審査項目に記した条件を満たし、学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められる場合に可とする。						
3/19	160	変更	博士課程前期課程 Ⅸ 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了（特別修了（9 月修了）（3 月修了）申請条件）」において以下の文言の削除 TESOL-J						
3/19	169	変更	博士課程前期課程	環境人文学単位互換プログラム ※新規項目	2024 年度履修要項 前期課程の該当箇所 Ⅺ環境人文学単位互換プログラムを確認すること。						

3/19	167	変更	博士課程前期課程 TESOL	3. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。
3/19	180	変更	博士課程後期課程 VI 博士学位申請	4. 審査基準	以下の赤字の文章追記 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること。論文審査は次の基準にもとづいて行う。
6/7	116	訂正	異文化コミュニケーション学部履修規定 (PEACE CIC)	2022 年度以降入学者 卒業要件 単位表 (PEACE CIC: 「卒業研究」 選択者)	・表の「科目区分」列の記載に以下の赤字の文章追記。 学びの精神 (「College Life Planning A/B」) ※ 1 ・表の欄外に以下の赤字の文章追記。 ※1 全学共通科目の「学びの精神」を修得した場合は、自由科目に算入される。
6/7	117	訂正	異文化コミュニケーション学部履修規定 (PEACE CIC)	2022 年度以降入学者 卒業要件 単位表 (PEACE CIC: 「卒業課題」 選択者)	・表の「科目区分」列の記載に以下の赤字の文章追記。 学びの精神 (「College Life Planning A/B」) ※ 1 ・表の欄外に以下の赤字の文章追記。 ※1 全学共通科目の「学びの精神」を修得した場合は、自由科目に算入される。

<2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
9/1	30	変更	Ⅲ 3 履修規定 (単位認定)	4 入学前に修得した単位の認定 (3) 認定科目名・履修区分	下線を追記 <全学共通科目> 全学共通科目として認定する場合は、科目名で表示せず、その内容から特定の履修区分に振り替えて認定する。ただし、本学で修得した科目については、本学の科目名で認定する。
5/18	21 130	変更	授業	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする (窓口交付の申請書は廃止)。 申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する (申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止)。

以上

【全学共通科目】

2023年度1年次入学者向け履修要項(2023年度配付)訂正・変更一覧
(2025年3月19日時点 訂正・変更一覧)

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

＜2025年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 3. スポーツ実習	スポーツスタディ	<p>文章中の以下の下線部を変更 また、各担当者から課せられるレポート <u>を提出することにより</u>，</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>また、各担当者から課せられるレポート <u>やテストにより</u>，</p>
3/19	全 38	変更	言語系自由科目 自由科目 1. 自由科目 履修上の注意	先修規定	<p>以下の文言を「5. 先修規定」として追記</p> <p>5. 先修規定 原則、言語系科目の自由科目に先修科目（※） はない。但し、日本手話については先修科目が 設けられているため、履修を希望する場合は必 ず R Guide の科目表で詳細を確認すること。</p> <p>（※）先修科目とは、ある科目を履修するた めの条件として、先立って、単位を修得してお くことが必要な科目をいう。</p>
3/19	全 40	変更	言語系自由科目 自由科目 3. ドイツ語・フ ランス語・スペイ ン語・中国語・朝 鮮語・ロシア語	2. 母語話者の 履修について	<p>文章中の以下の下線部を追記 母語は履修してはならない。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><u>一部科目を（※）除き、母語は履修してはなら ない。</u></p> <p><u>（※）「～語 CLILO」については、母語話者の 履修を認める。</u></p>

<2024 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	全 3 全 7 全 8	変更	全学共通科目とは 総合系科目	9月入学者向けの補足事項	以下の文言（下線部分）を追記 9月入学者は、4月入学者と履修時期が異なる。 本文は以下のように読み替えること。 1年次春学期 → 1年次秋学期 1年次秋学期 → 1年次春学期 <u>*NEXUS プログラム生（異文化コミュニケーション学部を除く）は、上記の読み替えは不要</u>
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 （F科目）	TOEIC → TOEIC®L&R 主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるという旨を追記。
3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ1・2」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス1・2」
3/19	全 34 ～ 全 38	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024年度 R Guide 掲載の 「 言語自由科目 カリキュラムの改定について 」を参照すること。

<2023 年度中の訂正・変更箇所> なし

以 上